

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市原池公園体育館、原池公園スケートボードパーク、陶器スポーツ広場(陶器テニスコート、陶器野球場)	
(2) 施設の設置目的	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
原池スポーツチャレンジ共同体 (美津濃株式会社、ミズノスポーツサービス株式会社、大林ファシリティーズ株式会社大阪支店、利晃建設株式会社)	
(5) 指定期間	
平成28年4月1日から令和3年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の收受、トレーニング機器の調達・管理、ニュースポーツ用具の貸し出し、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応、その他使用料等の徴収)施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応)自主事業(スポーツ教室の企画及び実施、トレーニング講習の実施、その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業)その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・消防訓練の実施(2回)、AED研修の実施、危機管理マニュアル作成、安全確保に努めた。 ・個人情報利用目的の明確化や収集した個人情報の管理を徹底し、研修などで個人情報の重要性や守秘義務等について継続的に教育を行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人員配置について、常時体育館に6名以上(警備含む)、陶器スポーツ広場に1名、スケートボードパークに2名以上を配置。トレーニング室・事務所など複数施設勤務可能な従業員を教育し、人材育成を図った。 ・日常警備・清掃等・植栽等は、施設維持管理関係業務一覧に基づき実施、第三者業務委託申請書に基づき、維持管理業務の一部を委託し、報告書を元に適切に行なわれたか管理した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	新型コロナウイルス感染拡大防止による休館などの影響はあったものの、スポーツスクールやイベント開催を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興、市民の健康・体力増進、安心安全に利用できる施設環境の提供、地域防災拠点機能の維持、利用者目線での管理運営等について、計画通り実施した。
その他特筆すべき取組	イベント申し込みなどをWEB予約にて対応をできるようにHPのリニューアルを行い、利用者の利便増進を図った。

イ 市による状況分析

- ・消防訓練やAED研修を実施し、危機管理マニュアルの周知徹底により、利用者が安心してスポーツを楽しむよう努めた。
- ・HPの内容を充実させ、施設の利用促進を図った。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池スポーツチャレンジ共同体	原池NEXT創発パートナーズ
利用者数(単位:人)	217,591	238,587	243,448	146,095	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	94.0	93.0	93.0	92.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・熱中症対策のため、冷房加算適用以外の諸室においても、気温に合わせて空調を稼働し、夏場はより安全に利用していただけるよう柔軟に対応した。 ・年間利用予測のもと臨時駐車場として区画拡張整備を行い、入退場待ちの解消に努めた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として各部屋にアルコール消毒を設置し、安全な運営を実施した。
意見・苦情・要望等への対応	下記PDCAサイクルによる利用者とのコミュニケーション推進 P: 四半期毎のアンケート実施 D: アンケート回収・分析 C: ご意見への回答 A: 改善事項(回答)の実行
その他特筆すべき取組	希望者に対して、イベントなどの案内をフェイスブック、LINEなどのSNSを利用し、配信した。また、臨時休館などの情報をいち早く配信することで情報の迅速な配信と業務の効率化を図った。

ウ 市による状況分析

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者人数は過年度と比較し減少した。アンケートにより利用者ニーズを把握し、改善を図り、またSNSを利用した迅速な情報の配信を行うことで高水準の利用者満足度を得た。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		原池スポーツ チャレンジ共同 体	原池スポーツ チャレンジ共同 体	原池スポーツ チャレンジ共同 体	原池スポーツ チャレンジ共同 体	原池NEXT創発 パートナーズ (公園野球場を 含む)
収入	指定管理料	61,887,070	56,902,549	56,736,518	64,582,489	112,969,000
	利用料金	58,542,575	64,492,990	58,332,070	40,452,332	96,760,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	69,770	75,930	2,980	3,420	4,544,000
合 計		120,499,415	121,471,469	115,071,568	105,038,241	214,273,000
支出	人件費	53,598,763	47,019,547	48,871,312	49,832,672	75,700,000
	委託料	30,243,778	31,201,348	31,499,623	31,398,452	55,711,000
	総支出額に占める 委託料の割合	23.8%	26.3%	25.6%	25.5%	26.0%
	修繕費	3,333,592	3,308,488	3,303,120	3,417,480	10,000,000
	光熱水費	18,010,597	16,545,283	16,638,508	16,611,292	29,260,000
	その他	21,949,494	20,618,814	22,642,172	21,941,049	43,602,000
合 計		127,136,224	118,693,480	122,954,735	123,200,945	214,273,000
収支差額		-6,636,809	2,777,989	-7,883,167	-18,162,704	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収 入	39,643,850	40,360,285	38,729,947	27,402,758	54,493,000
支 出	43,555,900	46,465,264	43,802,280	30,344,685	49,959,000
収支差額	-3,912,050	-6,104,979	-5,072,333	-2,941,927	4,534,000
(市への納付金の額)	100,000	120,000	150,000	160,000	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による臨時休館や営業時間短縮により、光熱水費について、経費の縮減に繋がった。 指定管理料には市の休館等指示で還付した令和2年度の利用料金等相当分として市が支払った8,205,452円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

市からの施設の休館及び開館時間の短縮の指示により、利用者数が前年度の約60%、利用料金収入が約70%となり、特にトレーニング室の利用料金収入は前年度より約11,680千円減少し、指定管理料を約820万増額してもなお、収支差額が大幅なマイナスとなった。施設の老朽化により、修繕費が前年度より増加した。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足度 年4回、アンケート調査及びモニタリングを行い、①職員の適切な接遇対応、②施設・設備等の安全確保の徹底、③利用者ニーズに基づく事業実施、④苦情の適切・迅速な対応の項目における満足及びやや満足の回答合計	80%を超えること	92.0%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用者数 体育館・スケートボードパーク及び陶器スポーツ広場(野球場・テニスコート)における平日の利用率向上に取り組みながら令和2年度の施設利用者を平成26年度比5%増(平成26年度 延べ201,349人/年)	211,417人	146,095人
スポーツ教室事業参加者数 令和2年度において平成26年度比5%増(平成26年度 延べ25,891人/年)	27,186人	24,154人

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	令和2年度までに年額 60,000千円以上	40,452,332円

イ 市による状況分析

毎月の研修実施により職員の質の向上を図っており、利用者満足度は目標水準を達成した。市からの指示による施設の休館が約2か月、開館時間の短縮が約1か月半生じ、また度重なる外出自粛要請の影響による利用キャンセルを受け、利用者数や利用料金収入は目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	事業収入に関して、新型コロナウイルス感染拡大の影響での臨時休館や時短営業などにより利用の制限がかかり、専用利用・自主事業ともに減少した。また、トレーニングジムの利用も中止となり、退会者も増加し収入減・利用者数減により目標達成ができなかった。しかし、イベントやお知らせをSNSで配信し、安全対策を実施し運営管理することで稼働率を保つことができた。	新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開館時間の短縮により、利用者数や利用料金収入の目標は未達となったが、毎月の研修実施や、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底し、またSNSを有効活用することで利用者への迅速な情報発信を務めたことにより、利用者満足度は目標を達成した。
今後の取組	新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、安全・安心な運営を心掛け、今後さらなる利用者増加、大会誘致等により施設の活性化を図る。	引き続きSNSの有効活用やHPの内容充実により、利用促進を図りたい。アンケートや利用者からの意見を大切に、利用者ニーズを把握し、高水準の利用者満足度の維持を図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

原池公園体育館等 稼働率

※トレーニング室、研修室は除く

(単位：%)

施設名	室名	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
原池公園体育館	大アリーナ	平日	57.6	62.3	59.6	57.7
		土日祝	96.1	96.8	94.7	92.4
		計	80.0	80.1	75.7	71.7
	中アリーナ	平日	79.1	78.5	78.8	76.5
		土日祝	94.8	98.0	95.6	91.3
		計	85.8	87.6	86.1	82.4
	小アリーナ	平日	98.9	95.9	90.3	63.8
		土日祝	85.3	87.3	76.4	66.7
		計	89.8	90.3	80.9	65.6
	多目的室	平日	53.3	51.4	61.4	52.3
		土日祝	90.5	93.9	89.8	95.6
		計	68.2	68.5	75.6	68.3
陶器野球場		平日	44.7	50.1	17.6	45.2
		土日祝	85.1	91.4	73.6	90.9
		計	61.3	67.6	34.5	60.2
陶器テニスコート		平日	53.4	55.4	56.0	55.2
		土日祝	95.0	96.3	96.5	95.2
		計	66.9	69.0	69.7	67.6